

岐阜市の料理店に 劣後ローン2500万円

日本公庫と岐阜信金

日本政策金融公庫岐阜支店は28日、岐阜信用金庫と連携し、和風会席料理店を経営する和風料理後藤家(岐阜市美園町、舟守壽子社長)に、新型コロナ対策資本性劣後ローンの2500万円を融資したと発表し

た。融資実行日は今月12日。6月の同ローンの制度拡充以降、県内で初の適用になった。

店舗は1952年創業の老舗会席料理店で、2019年に来店客の利便性向上のために店舗のバリアフリー化やエレベーターを設置する大規模修繕工事を実施した。昨年、コロナ禍で売り上げが減少したこともあ

り、運転資金の確保や財務基盤の改善を目的に、自己資本とみなされる劣後ローンの融資を受けた。返済期間は15年で最終年に一括返済する。岐阜信用金庫は認定経営革新等支援機関として、15力年の事業計画を策定した。

支店担当者は「コロナ禍で財務基盤が悪化した企業は多い。会社を存続させる

ために制度を利用してもらえれば」と話している。